

FUJIEDA ROTARY CLUB Weekly Bulletin

例会：毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-2-48 TEL 054-641-3321
事務局：藤枝市青木1-9-16 TEL 054-647-2300 FAX 054-647-2040
E-mail club1972@fujieda-rotary.org



ゆりかもめ
写真提供：山田昭雄君

会長：村松英昭 副会長：小宮弘一郎
幹事：後藤 功 副幹事：青島 彰

2006-2007年度
RIテーマ

率先しよう

ウィリアムB. ボイド

第1705回



<ソング> われら日本のロータリアン
<ソングリーダー> 望月 俊昭君

会長報告

村松 英昭君

2月も今日でおわり、明日からは3月です。もう春です。

古くから「桜伐る馬鹿、梅伐らぬ馬鹿」と言う言葉があります。私なりに調べてみましたら植物学的には、サクラもウメもバラ科サクラ属の植物です。双方を見比べると花はもちろん樹形もかなりちがいます。

サクラは枝を切ると腐りやすく、切り口がなかなかふさがらず、放射状にひび割れするのでそこから病原菌が侵入します。枝を過密に出す木でもないのに、病気がなければ庭師はわざと放っておきます。

一方、ウメは枝を切っても腐りにくく、萌芽力旺盛で盛んに成長の早い若枝を長く伸ばします。この枝が混み合うと日当たりや風通しが妨げられ、花つきが悪くなるので、思い切った剪定が必要になります。

「サクラ伐る馬鹿、ウメ伐らぬ馬鹿」のことわざはこの手入れのポイントをずばり表現しています。ウメの原産地は中国です。一説には、奈良時代に遣唐使船によってタネや苗木がもたらされたといわれています。この時代の日本の支配階級は中国文化に傾倒していて、唐で「寒気にめげず咲き、君子の操がある」としていた貴重なウメをもてはやし、内裏の正殿である紫良殿の前庭にウメが植えられました。

紫良殿：平安京だいのりの正殿

紅梅の渡来は平安時代といわれている。奈良時

代の万葉貴族が魅せられたのは白梅であったことになる。

万葉集にはウメの歌が118首登場する。サクラの歌は40首である。

時代が下り唐は平安中期に衰退し、遣唐使が廃止されると、いわゆる国粹思想がおこり、王朝の花もウメからサクラとなって紫良殿のウメも吉野のヤマザクラ(左近の桜)に変わっていった。このことから紫良殿の前庭に通じる階の左右にある左近の桜は平安時代初期はウメであったことが考えられます。

ウメのきれいに咲いているところがこの近くです。蓮華寺池公園の一番奥の野外音楽堂の裏に、白梅、紅梅がたくさんきれいに咲いています。

幹事報告

後藤 功君

- 地区ガバナー事務所より3月のロータリーレートは2月と同じ1ドル=118円とのご案内が届いております。
- 地区よりロータリー国際囲碁大会開催のご案内ならびに、第9回ロータリー日韓親善会議のご案内が届いております。
- 地区ガバナー事務所より第98回国際ロータリー年次大会(ソルトレイクシティ)『日本人親善朝食会』開催のご案内が届いております。

出席報告

青島 彰君

本日のホームクラブ出席者	前回の補正出席者
32 / 40 80%	31 / 40 77.5%

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

○北村君 ○池ノ谷君 浅川君 板倉君
桜井富君 鈴木舜君 仲田晃君 望月志君

(2)メイクアップ者

水野 義猛君(藤枝南) 岩田 規君(藤枝南)
杉山 静一君(藤枝南) 北村 幸男君(藤枝南)
松葉 隆夫君(藤枝南)

スマイルBOX 青島 彰君

- 去る2月24日にエミナースで所属するジャズバンド「ライナーノーツ」のコンサートをを行い、大成功に終わりました。 青島 克郎君
- 本日卓話をさせていただきます。 櫻井 龍太君
- 前日の例会に於いて表彰状を受領し感謝に耐えませんが。 宮崎 啓之進君

スマイル累計額 606,268円

委員会報告

- “ロータリーの友”3月号の紹介 ●

広報・雑誌委員長 櫻井 龍太君

3月は「識字率向上月間」です。

我々日本人には理解できませんが、発展途上国には、文字を読めない・字を書けない人々が、大勢おります。月間にあたり、この事実を改めて考えなおす必要があると思います。

P 1～ 識字・自立への贈り物 (RI会長)

P 5～ 識字率向上を目指して

P 11～ アメリカでの実例

また、次の縦組みページには参考となる、肩のこらない記事があります。

P 18 友愛の広場

P 16 言いたい・聞きたい

■ 広報・雑誌委員会卓話

広報・雑誌委員長

櫻井 龍太君



RI指定の「雑誌月間」は4月ですが、本日はロータリークラブの雑誌について、お話を致します。

ロータリアンには、3つの義務があるといわれております。

- 1 会費を納めること
- 2 例会等に出席すること
- 3 機関雑誌を講読すること

しかし義務とかではなく、機関誌を通じての情報交換・地区・他クラブの活動を知ることが、目的であります。

RCでの雑誌とは、次の3種類です。

- ・公式機関雑誌＝ザ・ロータリアン (英文)
- ・公式地域雑誌＝「友」を含め31誌 (各国語)
- ・単なる地域雑誌＝公式ではない地方誌 (同上)

「友」は1979年7月から1年間の試験期間をへて1980年7月から、公式地域雑誌に承認され、1991年には、栄誉あるグランプリを受賞しています。現在の発行部数は13万部で、「ザ・ロータリアン」は51万部です。

「友」英語版は、日本のロータリークラブの活動を海外に紹介して、国際理解の一助にすることを目的として、年2回(4月と11月)発行しています。

(担当/増田)